

このたび、当院の事務職員が新型コロナウイルスに感染したことが3月24日に判明いたしました。直ちに当該職員の立ち入りエリア等の消毒を行い、接触者18名のPCR検査を行いました。全員陰性でした。

患者さんや診療スタッフとの接触はなく、検査の数日前から短時間しか出勤していないため感染拡大は考えにくいと思われませんが、座席が近い職員や、前の週に一緒に昼食を摂った職員は濃厚接触者として2週間の自宅待機となりました。

外来、入院とも通常業務は可能な状態でしたが、事務職員の不足により3月25日（木）、26日（金）は外来診療や入院の受け入れは制限いたしました。連携医療機関からの応援をいただきながら、3月29日からは通常診療を行います。

皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

一番大変な思いをしているのは、患者さんやそのご家族であり、退院後に周囲が暖かく迎えるような配慮が大切と思われまます。

自宅待機者については、陰性が確認されればその家族の活動が制限されることはないと考えられ、周囲の過度な反応は不要と思われまます。

新型コロナウイルスへの感染は、日常生活の中で誰でも起こりえるものであり、感染者やその家族への偏見・差別のない社会であってほしいと思ひまます。

コロナ禍ではありますが、感染対策に取り組みながら、通常診療をさらに充実させるよう努めて参りますので、今後ともご協力お願い申し上げます。

令和3年3月29日
岩手県立軽米病院長